

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第41回益田市行財政改革審議会
開催日時	令和4年11月24日（木） 13:30～14:40
開催場所	益田市役所本館3階 大会議室
出席者及び欠席者	<p>[審議会委員] 光延忠彦委員・西村延剛委員・藤井幸子委員・澤江佑三委員・秋吉卓也委員 澄川裕美子委員・田中文仁委員・土佐玲子委員</p> <p>[事務局] 政策企画局長 石川秀文、政策企画課長 田原啓文 行革・DX推進室長 岩井加恵、主任主事 檜垣美奈 副主任主事 堀聖矢</p> <p>○欠席者 重親政継委員・清寺一輝委員</p>
議題	(1)「益田市行財政改革取組方針」に基づく取組状況について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
問合せ先	政策企画局政策企画課行革・DX推進室 電話：0856-31-1066

審議経過

<p><b>1. 委員の選任について</b></p> <p>委員交替により、初参加となる委員等の紹介。</p>
<p><b>2. 議題</b></p> <p>(1) 「益田市行財政改革取組方針」に基づく取組状況について <b>資料1</b></p> <p>取組方針に掲げる項目のうち、昨年度下半期以降の主な取組事項である自治体DXの取組状況について、資料1により報告し、ご意見をいただく。 (いただいたご意見とその回答の概要は次のとおり。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ フロアアドバイザーを配置するのはよいが、人がいなくても操作できるのが理想である。病院は看板が色分けされていたり、発券機や精算機が設置されているなど自動化が進んでいる。参考にしてほしい。</li> <li>◆ アドバイザーの配置は市民にとって助かる。</li> <li>◆ 市役所での手続きは便利になるが、広く一般の市民にとってもメリットとなるよう、市役所に行きやすくなるような取組をしてほしい。</li> <li>◆ 身近な存在である公民館をもっと有効活用してほしい。</li> <li>◆ デジタル機器に不慣れな高齢者を支援しながら取組を検討してほしい。</li> </ul>

- ◆ 高齢の方や障がいがある方など、市役所に行けない方もおられる。さまざまな手続がデジタル化され、自宅で完結し、後日郵送されるようになるとうい。
- ◆ 市役所から発送される文書についても、高齢の方にとってはわかりづらいものが多い。簡素化が必要。その点、これから取り組もうとされているアナログ的改革はよい取組。
- ◆ DXは特に若年層にとっては手続きがスムーズになり良い取組。
- ◆ 取組のPRはしっかりしてほしい。
- ◆ 動画配信やケーブルテレビでの広報も手段として有効ではないか。
- ◆ 費用対効果を具体的に数字で示せるようにしてほしい。

[事務局回答]

- 人口減少や少子高齢化などにより職員数も減少する中でも事業を継続できるよう、課題に対応するための手段のひとつとして国がDXの方針を出している。本市でもデジタル化を進めることで内部業務の効率化に繋げていきたい。
- 庁舎改修については、建て替えか耐震補強かの選択肢の中で、耐震補強を選択した経緯がある。耐震化においては大幅な窓レイアウト改修までは許されていない状況でもあった。今回の改修は国の交付金を活用する予定であるが、交付対象となる部分とそうでない部分を見極めながら現在検討している。
- 情報発信についてはいろいろな手段で行っているが、すべての方に届いていないのが現状であり課題である。ホームページも昨年度リニューアルしたところ。今後もご意見をいただきたい。
- 本日いただいたご意見を踏まえ、引き続き取組を推進していきたい。

#### 4 その他

◇次回審議会開催予定日

- 今年度はこの1回限り。
- 次回開催予定は令和5年5月。

以上